

1年生 こども未来学科対象（体育実技）

ティーチングポートフォリオ

佐賀女子短期大学 こども未来学科 氏 名 松本 勇治

1. 教育の責任

この科目は、卒業必修科目として開講されている。本学科の「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人」「基礎・基本の学力とともに、専門的知識や実践的技能を身に付けようと努力することができる」という学習成果と関連している。

2. 教育の実施における理念

体育実技は、保育士資格・幼稚園教諭二種免許・小学校教諭二種免許・子ども発達支援士・ピアヘルパー（受験資格）の資格必修科目である。

将来、教育者・保育者を目指す学生の卒業必修・資格必修科目であるため、運動技能の習得の他、協調性や責任感・マナー等を身に付けることを目的としている。

3. 教育の方法

展開時期は1年次通年開講となる。本講義の到達目標は、①各種目の特性を理解し、技術とマナーを身につける。②集団での活動を通して協調性を養うとしている。

授業実施上の工夫としては、協調性を養うためにペア（ダブルス）での活動を多く取り入れ、パートナーとコミュニケーションを取りながら活動を行う時間を多く設けている。

また、準備や片付けについても学生が責任感を持って主体的に取り組めるように工夫している。

4. 教育の成果

授業評価アンケートの結果について【受講者53名】

「この授業の到達目標を十分に達成した」について

とても当てはまる	45%	23名
まあまあ当てはまる	35%	18名

【回答者51名 回答率96%】

「この授業に対して、5段階で総合的に評価してください。（5が最も良い評価）」について

5点	58%	29名
4点	28%	14名
3点	10%	5名
2点	4%	2名

【回答者50名 回答率94%】

また、授業評価アンケートの自由記述欄の記載には、「バドミントンでペアの人と協力しながら楽しく活動できて良かったです。」「バレーやバドミントンをすることで、同じコースの人と協力したり助け合いをしたりして、楽しく活動出来ました。」「運動は得意ではありませんが、体を動かすことの楽しさを感じることができました。」などの記載があり、本科目の目標である「各種目の特性を理解し、技術とマナーを身につける。」「集団での活動を通して協調性を養う」について、学生は概ね獲得できたと思われる。

5. 目標

今年度は2名の教員に授業の様子を見学して頂いた。

授業見学後のミーティングでは、「必要に応じて学生に質問やアドバイスをするなど、コミュニケーションを取りながら授業を進めていた。」「全体的に、学生への説明が丁寧でわかりやすく、学生の動きを見ながら安全面にも十分配慮しながら授業を進めていた。」「学生の進行状況を確認し、対話をしながら進められており楽しい授業でした」「学生はバドミントンというスポーツについて、実践を通じて知識や技術を学ぶとともに、クラスメイトと授業内でバドミントンをするということを通じて、コミュニケーションすることや体を動かすことによる様々な効果があると感じた。」との意見を頂いた。

今後も学生が主体的に活動に関わることができように、グループでの活動を多く取り入れ、運動技能の習得と協調性や責任感やマナー等が身に付くように工夫しながら授業を行いたい。

また、同じ科目を担当してる非常勤講師の教員ともコミュニケーションを取りながら、授業を進めていきたい。